



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マルエツ

コード番号 8178 URL <http://www.maruetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上田 真

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部長

(氏名) 渡邊 俊夫

TEL 03-3590-0016

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日

平成26年11月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	171,655	6.2	2,309	130.6	2,130	62.5	1,315	71.8
26年2月期第2四半期	161,627	2.4	1,001	△39.1	1,311	△10.9	765	13.7

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 1,152百万円 (29.5%) 26年2月期第2四半期 889百万円 (32.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年2月期第2四半期	10.50	10.46
26年2月期第2四半期	6.12	6.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	135,299	64,219	46.9
26年2月期	131,153	63,397	47.7

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 63,423百万円 26年2月期 62,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年2月期	—	3.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	344,400	5.6	4,300	56.3	4,000	31.6	2,000	141.5	15.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	128,894,833 株	26年2月期	128,894,833 株
27年2月期2Q	3,571,372 株	26年2月期	3,650,655 株
27年2月期2Q	125,290,667 株	26年2月期2Q	125,126,571 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料発表日現在における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって、上記予想と実際の業績が異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料の一部については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成26年10月9日(木)・・・機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策の効果等により、企業収益の改善や設備投資の増加等、景気動向は緩やかに回復しつつあるものの、一方で消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れの懸念等もあり、依然として予断を許さない状況が続いています。

小売業界では、消費者物価の緩やかな上昇によりデフレ状況は解消しつつあるものの、業態を超えた競争に採用難や賃金コストの上昇等も加わり、引き続き厳しい経営環境となっています。

このような状況のなか各施策に取り組みました結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は1,716億55百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は23億9百万円(前年同期比130.6%増)、経常利益は21億30百万円(前年同期比62.5%増)、四半期純利益は13億15百万円(前年同期比71.8%増)となりました。

なお、5月19日に、当社、株式会社カスミ、イオン株式会社、丸紅株式会社の4社は、当社及び株式会社カスミ、イオン株式会社の連結子会社のマックスバリュ関東株式会社による、「首都圏におけるスーパーマーケット連合」の創設について、具体的な検討を開始することで合意し、現在準備作業を進めています。

セグメント別の業績は、下記のとおりです。

《小売事業》

小売事業につきましては、「『変革』への挑戦の年」を基本テーマに、「競争力の向上」「生産性の向上」「マネジメントと実現力の向上」に取り組みました。

「競争力の向上」につきましては、ベーシック商品の強い単品作りや、生産体制の充実を図るための人員の再配置により、デリカ部門の強化に努めるとともに、自社のセンター加工商品を活用し、精肉・鮮魚部門の鮮度と品揃えの充実を図りました。

プライベートブランド「maruetsu365」では、女性の意見を積極的に取り入れたアイスクリーム「Premo(プレモ)」等、お客様の潜在ニーズに対応する商品の開発を進めました。

さらに、店舗エリア編成を店舗規模タイプ別に見直すとともに、各規模タイプ別に最適な商売の実現とローコスト運営を図りました。

その一環として、全店共通だった販促チラシについてオペレーションの異なる小型店を分離しました。

「Tカード」の活用につきましては、お客様の購買行動分析に基づく関連販売の提案や商圏の見直しを行うとともに、特定商品にポイントを付与する「商品ボーナスポイント」や、お客様が貯めたTポイント475ポイントを500円のお買物券と交換する「475ポイント交換企画」等の販促施策を継続実施し、効果の最大化を図っています。

「生産性の向上」につきましては、ワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、自社の精肉・鮮魚の加工センターの有効活用をさらに進めるなど、店舗作業の軽減と人的効率の向上に取り組みました。

「マネジメントと実現力の向上」につきましては、店舗損益の構造的な改革を推進するため、組織横断的な店舗損益改善プロジェクトを立ち上げ、スペース生産性や人的指標の改善等に取り組んでいます。

また、パートナーの潜在能力最大化のための実務教育とサポート体制を構築し、人材育成と教育訓練の強化に努めました。

その他では、ウナギ資源保護活動を支援するため、「土用丑の日セール」に販売した「ウナギ蒲焼」をはじめとするウナギ製品の売上金から、1点につき10円相当額を拠出し、「鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会」へ寄付しました。

新店は、マルエツ屋号店舗として東京都に代々木上原店、神奈川県に磯子店、平間店を、マルエツプチ屋号店舗として東京都に北品川一丁目店、品川橋店、芝二丁目店の合計6店舗を新設しました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は274店舗となりました。

また、既存店の活性化を図るための改装を3店舗で実施しました。

中国事業につきましては、6月29日に2号店としてリンコス無錫海岸城店を、1号店と同じ江蘇省無錫市内にオープンしました。

これらの結果、小売事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益は1,698億99百万円(前年同期比6.3%増)、セグメント利益(営業利益)は20億84百万円(前年同期比270.4%増)となりました。

《不動産事業》

不動産事業につきましては、不動産賃貸及び駐車場管理の効率的運営に努めましたが、一部施設の閉鎖による不動産賃貸収入の減少等により、当第2四半期連結累計期間の営業収益は17億40百万円(前年同期比3.9%減)、セグメント利益(営業利益)は1億94百万円(前年同期比53.3%減)となりました。

《その他》

その他につきましては、業務受託事業、人材派遣事業、品質管理及び商品検査事業等で構成されており、当第2四半期連結累計期間の営業収益は16百万円(前年同期比15.0%減)、セグメント利益(営業利益)は30百万円(前年同期比39.2%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ41億46百万円増加し1,352億99百万円となりました。主に現金及び預金の増加によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ33億24百万円増加し710億80百万円となりました。主に買掛金の増加によるものです。

なお、有利子負債は、前連結会計年度末に比べ28億61百万円減少し279億51百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ8億21百万円増加し642億19百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ35億76万円増加し182億70百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益21億30百万円、減価償却費28億46百万円、仕入債務の増加額33億17百万円等により、87億89百万円の収入(前年同期比40億69百万円の収入の増加)となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出19億70百万円、差入保証金の回収による収入7億79百万円、差入保証金の差入による支出3億77百万円等により、18億73百万円の支出(前年同期比19億31百万円の支出の減少)となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、長期借入金の返済による支出27億52百万円等により、32億39百万円の支出(前年同期比20億95百万円の支出の増加)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点では平成26年8月26日に公表した数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,693	18,270
売掛金	2,142	3,082
商品	8,863	8,944
貯蔵品	54	56
繰延税金資産	558	344
その他	6,563	7,150
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	32,876	37,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,239	34,519
土地	26,842	26,839
その他(純額)	6,291	6,270
有形固定資産合計	67,373	67,628
無形固定資産		
3,212	3,212	2,801
投資その他の資産		
投資有価証券	81	56
差入保証金	24,641	24,212
繰延税金資産	2,771	2,591
その他	450	417
貸倒引当金	△255	△255
投資その他の資産合計	27,690	27,022
固定資産合計	98,277	97,452
資産合計	131,153	135,299

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,679	22,322
1年内返済予定の長期借入金	2,634	2,900
未払法人税等	441	654
株主優待引当金	124	60
商品券引換引当金	1	—
その他	8,273	10,865
流動負債合計	30,154	36,803
固定負債		
長期借入金	27,218	24,200
退職給付引当金	2,426	2,365
転貸損失引当金	271	300
資産除去債務	1,284	1,331
長期預り保証金	4,660	4,561
その他	1,741	1,518
固定負債合計	37,600	34,277
負債合計	67,755	71,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,549	37,549
資本剰余金	9,776	9,776
利益剰余金	16,832	17,756
自己株式	△1,805	△1,765
株主資本合計	62,352	63,316
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	176	106
その他の包括利益累計額合計	176	106
新株予約権	146	167
少数株主持分	723	629
純資産合計	63,397	64,219
負債純資産合計	131,153	135,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	158,296	168,350
売上原価	111,532	119,443
売上総利益	46,763	48,907
営業収入	3,331	3,305
営業総利益	50,095	52,212
販売費及び一般管理費	49,093	49,902
営業利益	1,001	2,309
営業外収益		
受取利息	25	21
補助金収入	52	19
受取保険金	9	17
貸倒引当金戻入額	287	—
雑収入	148	13
営業外収益合計	523	71
営業外費用		
支払利息	143	131
固定資産除却損	28	24
雑損失	42	95
営業外費用合計	214	250
経常利益	1,311	2,130
特別損失		
減損損失	203	—
店舗閉鎖損失	111	—
特別損失合計	315	—
税金等調整前四半期純利益	995	2,130
法人税、住民税及び事業税	214	486
法人税等還付税額	△129	—
法人税等調整額	165	392
法人税等合計	250	879
少数株主損益調整前四半期純利益	745	1,251
少数株主損失(△)	△20	△64
四半期純利益	765	1,315

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	745	1,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	—
為替換算調整勘定	145	△99
その他の包括利益合計	144	△99
四半期包括利益	889	1,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	866	1,246
少数株主に係る四半期包括利益	23	△94

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	995	2,130
減価償却費	2,980	2,846
減損損失	203	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15	△60
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△206	28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△287	0
受取利息及び受取配当金	△68	△21
支払利息	143	131
固定資産除却損	44	24
売上債権の増減額(△は増加)	△561	△939
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7	△88
仕入債務の増減額(△は減少)	2,309	3,317
未払費用の増減額(△は減少)	388	1,104
その他	187	697
小計	6,136	9,170
利息及び配当金の受取額	68	21
利息の支払額	△142	△130
法人税等の支払額	△1,471	△277
法人税等の還付額	129	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,720	8,789
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,877	△1,970
無形固定資産の取得による支出	△530	△313
差入保証金の差入による支出	△208	△377
差入保証金の回収による収入	787	779
その他	23	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,805	△1,873
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△108	△109
長期借入金の返済による支出	△659	△2,752
自己株式の取得による支出	△1	△3
配当金の支払額	△374	△375
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,143	△3,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	110	△100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△118	3,576
現金及び現金同等物の期首残高	12,750	14,693
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	893	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,526	18,270

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	不動産事業	計				
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	159,797	1,810	161,608	19	161,627	—	161,627
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	114	247	362	986	1,348	△1,348	—
計	159,912	2,058	161,970	1,006	162,976	△1,348	161,627
セグメント利益	562	417	979	22	1,001	—	1,001

(注)1 「その他」の区分には、業務受託事業、人材派遣事業、品質管理及び商品検査事業等を含んでいません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「小売事業」セグメントにおいて、環境の著しい悪化が見られる店舗について203百万円の減損損失を計上しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	不動産事業	計				
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	169,899	1,740	171,639	16	171,655	—	171,655
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	157	246	403	960	1,363	△1,363	—
計	170,056	1,986	172,042	976	173,019	△1,363	171,655
セグメント利益	2,084	194	2,279	30	2,309	—	2,309

(注)1 「その他」の区分には、業務受託事業、人材派遣事業、品質管理及び商品検査事業等を含んでいません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。